

リックファイバー施工手順

施工前外観

施工前調査から施工時までの約 1 ヶ月間でも、錆は著しく成長。



梯子部分拡大 →
錆による塗膜の浮き・剥がれ



← 手すり



← 機械室 上部

仮設足場



素地調整（ケレン）

錆の進行度合いに応じ、素地調整は2種・3種混合ケレンを選択。サンダー、ワイヤーブラシ、カップワイヤーを使用。（既存活膜の剥離は不要。チョーキングや劣化部分は取り除く。）



機械室 上部



サンダーによる素地調整

施工前、一見きれいに見えていた部分も含めてすべて赤錆で覆われており、いわゆる「全面腐食」の状態。

この状態で一般的な素地調整を行い、従来の錆止め塗料にて塗替えをしても錆は進行し続ける。



ケレン後の素地表面は孔食*が多数発生。

*表面から孔状に浸食していく腐食現象。進行すると最終的には鋼材に穴が開く原因となる。



劣化した塗膜を除いた素地面



左：劣化塗膜の表面



右：同様裏面

工程・施工品質管理のため、リックファイバーはグレーとグリーンの2色で構成。

リックファイバー 1回目

グレー 吹付



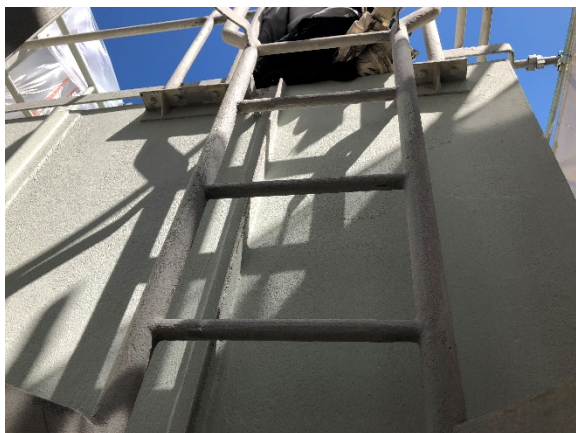
屋上



梯子側

リックファイバー 2回目

グリーン 吹付



梯子側



屋上 手すり

手すり等の細かい部分は刷毛を使用。

トップコート

トップコートは水性塗料とし、ここでは水系のアクリルシリコン樹脂塗料を使用。



施工は吹付とローラー

完成写真

